

代 表 者
院長

研 修 報 告 書

令和8年5月1日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

大島 和浩

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和8年4月21日（土）～4月22日（日）

2. 研修項目

「初動」で決まる信頼と影響力
予算・決算を読み解く－「財政」に強い議員が最強
「議員力」を上げる！政策立案と提案力

3. 参加議員

新しい風 大島和浩

■研修項目 1

【研修団体及び講師氏名】

地方議員研究会 統括室長 杉本康介

【研修目的】

- 議員の仕事とはなにか を地方自治法第1条に基づき、
- ・そもそもなんのために選挙にでたのか、
 - ・議員のミッションを今一度考えてみよう、
 - ・今日をきっかけにマインドセットを その活動は本質的？
- の3点について深堀して学び、今後の議会の活動に反映させていく。

【研修内容 1】

「初動」で決まる信頼と影響力

地方自治法第1条、第2条の解釈からはじまり、首長と議会の関係のよくある誤解、地方議会と国会の行政との関係の違い、日本の二元代表制の姿、1期目で絶対外してはいけない議員活動の基本、新人議員にありがちな誤解、首長と議会は住民に直接責任がある、ありがちな議会の常識、自分の議会のルールを把握しているか、例規集、質問の基礎基本、役所を動かすための政策提案型質問の構造、答弁調整を効果的に、一般質問の構成を考える、活躍する議員の必須知識と行動等、新人議員がいかにして住民の福祉の増進に寄与できるかを学んだ。

【研修内容 2】

予算・決算を読み解くー「財政」に強い議員が最強

何をしているか分からない議員にならないための研修。議員の売りの設計、一般質問を提案型に進化させる、役所を動かすための政策提案型質問の構造、質問の準備や情報収集、分析システムの活用、他自治体の成功事例、実現可能な公約に変える戦略的思考等、政策立案と提案力を身に着け、地方の衰退を救う仕事の仕方を学んだ。

【研修内容 3】

「議員力」を上げる！政策立案と提案力

自治体の財政を知る勘所、地方財政の制度、財政のルール、自治体個別の財政について知り、進捗や成果を聞き、予算に生かす方法を学んだ。

また、自治体財政のルールを他市の事例を取り上げ成功例、失敗例を数々知り得た。

その他、議員に必要な財政の知識と視点など学び、数字で語る議員になるための知識を教えてくださいました。

【呉市での展開の可能性】

今回の研修を通じ「議員としての基本姿勢とルール熟知」「根拠に基づく政策提案力」、そして「提案を裏付ける財政的視点」という、議会活動において不可欠かつ強力な3つの武器を総合的に学ぶことができた。これらの学びを今後の呉市での議員活動において、以下の通り展開していく。

● 二代表制の基本に立ち返った議会活動の徹底

まずは呉市議会の例規集や独自のルールを改めて把握し、初動の段階から議会内および行政との間に確かな「信頼関係」を構築する。首長（行政）とは異なる視点から住民に直接責任を負う立場として、適切な緊張感を保ちながらも、呉市民の福祉の増進という共通目的に向かって建設的な議論をしていく。

● 「政策提案型」の一般質問による呉市の課題解決

「何をしているか分からない議員」に陥ることなく、自身の強みや売りを明確にした活動を展開する。一般質問においては、単なる現状の確認や要望にとどまらず、他自治体の成功・失敗事例や客観的なデータ分析を呉市の現状に落とし込んだ「政策提案型質問」へと進化させる。これにより、呉市が直面する人口減少や地域経済の衰退といった課題に対し、実現可能性の高い具体的な解決策を行政に提示し、実際に役所を動かす原動力とする。

● 財政的根拠（数字）に基づいた説得力のある政策実現

いかに優れた政策提案であっても、財政的な裏付けがなければ実現は困難。今後は呉市の予算・決算や地方財政のルールをより深く読み解き、「数字で語れる議員」として提案の説得力を高める。進捗や成果を検証しつつ、限られた財源をより効果的な事業へ向けるための予算編成への反映など、実効性のあるアプローチを実践していく。

最初の一手で築く「信頼」、客観的情報に基づく「提案力」、そしてそれを実現に導く「財政的裏付け」。今回得たこれら3つの視点を呉市議会での日々の活動に直結させることで、呉市のさらなる発展と市民の福祉の向上に最大限寄与できる「結果を出せる議員」として、今後も研鑽を続けていく所存です。

呉市の市民の声を聞きながら、今後の呉市議会での活動に反映できればと思います。